

MCT TTT コース設計書

名称	マイクロソフト認定トレーナー養成コース (MCT TTT)
時間×日数	6時間×3日間 10:00~17:00
受講対象者	MCT 取得希望者
受講者の 想定スキル	担当するアプリケーションの MCAS 合格済み ※トレーナー経験は無い、または少ない方が多いと想定
形態	6名までの集合研修
使用テキスト	「プロフェッショナル・トレーナーへの道」日経 BP 社 エイチ・アール・ディー研究所、MOT コミュニティ共著
機材	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者は1人1台の PC を使用する ・講師用 PC の画面を受講者に向けたモニターに表示する ・ホワイトボードを用意する ・ビデオ収録のための機材を準備する
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・2007 Office system がインストールされていること ・ビデオ収録したデータを再生する環境を整えておくこと
スタッフ	メイン講師 1名
研修の目的	MCT に必要なトレーナーとしてのスキルを身に付け、研修の現場で実装できる ※該当するスキル基準は、CTT+における 12 のスキル評価基準 (80%以上) に準拠
研修の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・MCT に必要なスキルを実務に実装する必要性が理解できる ・MCT に必要なスキルの基本を演習およびビデオ収録の中で実践できる ※該当するスキル基準は、CTT+における 12 のスキル評価基準 (80%以上) に準拠
最終評価	3日間を通して学習した内容を盛り込んだ詳細プランの作成と 20 分間のビデオ収録ができ、実務への実装の必要性を理解したことで達成とする
研修概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. テキストを使って MCT として必要な知識とスキルを理解する ※スキル基準は、CTT+における 12 のスキル評価基準に準拠する 2. 学習した内容を、各演習で練習する <ul style="list-style-type: none"> ・各要素に分割して、積み上げるように学習していく ・各演習では、他の受講者および講師レビューを行う 3. 研修前の事前確認の重要性とコース設計から詳細プラン作成の概要を理解する 4. 各自のビデオ収録を行う範囲の詳細プランを作成する 5. 詳細プランについて、他の受講者および講師評価から改善点を把握する 6. 各自の詳細プランに 12 のスキル基準を実装するような改善案を出せる 7. 前半 2 日間の講義とディスカッションを通し、12 のスキル評価基準の重要ポイントを収録するビデオと実務で実装するにはどうしたらいいかを意見交換することによって理解を深める 8. 上記をもとに、3 日目に約 20 分間の模擬授業のビデオを収録する 9. 各自のビデオ収録内容について、他の受講者の感想、自己評価および講師の評価をもとに振り返りを行う